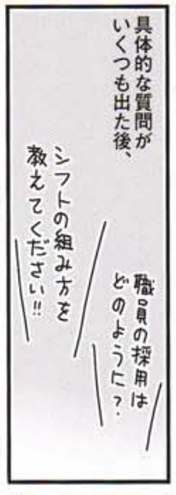
●JICA国内研修ゲンバ訪問記 VOL.24 中国高齢者介護支援技術研修@岐阜編

OJAMA-SHIMASU

たけだみりこ

たけだみりこ　漫画家。4コマ、ショート、料理漫画を中心に活動中。著書に「セイシュンの食卓」『異国のメシーる』『クッキング カンタンタン』『キッチンの穴』など。http://majop.com/Neji/

EDITOR'S MEMO

今回紹介する研修は、岐阜県とJICA中部の連携による「中国高齢者介護支援技術研修」。中国の江西省で社会福祉施設の高齢者介護部門を管理監督する立場の職員が、岐阜県の社会福祉施設で高齢者介護の技術や施設運営方法を習得し、日本の高齢者介護サービスの理解を深めることが目的だ。また、介護分野の人材育成手法を学び、江西省の社会福祉施設の高齢者介護人材育成のためのプログラムを立案することも目指している。

岐阜県と江西省は1988年に友好県省提携を結び、これまでも林業などの分野で国際協力を行ってきた。しかし近年、高齢化が進む中国でも高齢者介護サービスの整備が課題となっており、江西省から高齢者介護の技術研修の要望を受けた岐阜県が、JICAの草の根技術協力事業を活用して、2006年から3年間の計画で研修を実施することになった。今年度は危有運（ウェイユウユン）さんと艾茨萍（アイシピン）さんが7月に来日。約3カ月間、主に岐阜県立寿楽苑での講義や実習を通して、特別養護老人ホームの介護サービスや、デイサービス、居宅介護支援などの技術を学んでいる。国や言葉が違っても「心が通じ合っていれば大丈夫」と笑顔で熱心に介護に取り組む2人の姿は、寿楽苑のスタッフにも刺激を与えているようだ。